

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 150

**エントリー学校名：福島県二本松市立大平小学校**

**活動名：学びと地域をつなぐ ～学校行事から始めるカリ・マネ～**

**解決すべき課題：**

- ・従来の学習発表会(学芸会)のねらい、児童にどんな力をつけるために学習発表会を行うのかが見えにくくなっている部分があり、発表の練習時間が各教科の時数を圧迫している現状がある。新学習指導要領完全実施に向けて、学習内容、行事の精選が一層求められる。【資料 1：SWOT 分析】
- ・地域に開かれた教育課程が求められる中、地域の材を有効に活かしていない。

**目標・方針：**

- ・学習発表会の内容を見直す。各教科の学びを活かした単元を構想し、学校行事と関連させることで、教科時数を確保しながら、子どもの学びの成果を表す学習発表をつくるのではないだろうか。
- ・地域と連携し、地域の材を生かしたカリキュラムマネジメントを行うことで、郷土を愛する心、郷土に関わろうとする心を育成することができるのではないだろうか。

**活動内容：**

- ・伝達講習を行い、地域と児童をどのように関わりをもたせていくのか、それによりどのような学習効果が期待されるのかを学校全体で共有した。
  - ・従来のステージ発表(劇、表現、合奏など)を見直し、各教科等の学習内容を活かした単元を構想した。
  - ・学校行事改善に取り組むことを受け、6 学年ではまちづくりの提案発表をする「大平サミット」の単元を構想した。地域の方と双方向のやりとりをすることで、地域と共に創る学校行事を目指した。【資料 2】【資料 3】
  - ・教科横断的な学習を充実させたカリキュラムマネジメントにより、教育効果を最大限に高める。
- ※国語科(町の幸福論)、総合的な学習の時間(地域学習)、学校行事(学習発表会)をつなぐ。

**活動の成果：**

- ・教職員、児童、保護者が、自分の地域について考える、知る、学ぶ機会とすることができた。地域と共に子どもを育てる、地域と共に学ぶ一歩を踏み出すことができた。(アンケートから)
- ・自分の住む地域に対する郷土愛、社会参画の意識を子どもたちに育むことができた。
- ・各教科等の学びの成果を発表したため、イベント的な学校行事とは違い、他教科の時数を圧迫することなく学習を進めることができた。教科横断的な視点で単元構想を立てたことで、学習後も自ら考え、動き出す姿が見られ、学びが深まった。
- ・「地域が好き」と答える児童が 20%増、「うちの人は大平が好きだ」と答える児童が 15%増。(6 学年アンケート)

**アピールポイント (アイデアや工夫)：**

- ・地域連携担当教員を中心に、地域人材との連携をとることができ、新たな地域教材を見つけることができた。
- ・6 学年では、地域課題を扱うことで、地域との双方向のやり取りが実現し、課題に対して主体的に関わろうとする思いを高めることができた。6 学年の提案がきっかけとなり、学校と地域が連携しながら地域行事を作っていく意識が高まった。今年度から地域行事に関わらせていただくことになった。
- ・学校として、6 学年としての活動や実践を、多くの場で広めることができた。【資料 4】

【資料 1】

	学区社会・学校・保護者の意識	学校内部 (規模及び子ども集団、組織体制)	特色ある学校づくり
+	<b>Opportunity (プラス要素)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協力的な保護者・地域</li> <li>○ 三世同居家庭が多い</li> <li>○ 本校出身の保護者が多く、保護者間のつながりが深い。愛校会</li> <li>○ 市職員、青年会議所〇日が多い</li> <li>○ 豊富な地域の人的・物的資源</li> <li>○ 「おらが村」意識が高く、団結力が高い 養蚕 稲作 自然豊か</li> <li>○ 学区内に市の観光施設 ふるさと村がある ヒガンバナ</li> </ul>	<b>Strength (強み)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 素直で、言われたことを遂行しようとする子ども</li> <li>○ 男女仲よく、面倒見がよい。上学年が下学年の面倒をみようとする伝統</li> <li>○ 単学年のため即実行できるスピード感</li> <li>○ ベテラン教員が多く、これまでの経験や知見が豊か。</li> <li>○ 学習指導要領移行期のチャレンジ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人的・物的資源を生かした、郷土学習の充実</li> <li>・地域と共に、子どもを育てる</li> <li>・地域素材を地域と共に開発</li> <li>・「おらが村」意識が高く協力的な、地域の方と共に学び合う</li> </ul>
-	<b>Threat (マイナス要素 脅威)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学区が広く通学不便</li> <li>○ 人口減少 高齢化</li> <li>○ これまでに度重なる水害の歴史</li> <li>○ 観光資源はあるが、目が向きにくい</li> <li>○ 中心地からの交通が不便</li> <li>○ 学芸会的学習発表会への期待</li> </ul>	<b>Weakness (弱み)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊富な地域資源を活用しているが単発的</li> <li>○ 自分の思いを自分から発信することに消極的な子どもが多い</li> <li>○ 自主的・実践的な活動の少なさ</li> <li>○ 学校行事が一過性のイベント的時数が多く様々な面で負担過重</li> <li>・運動会・学芸会的学習発表会</li> </ul>	<b>学校改善の課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の見直し</li> <li>・教科等の学習を生かす、学校行事への改善</li> <li>・目指す子どもの姿の共有</li> <li>・豊富な地域資源を継続的に活用した教育課程の編成</li> </ul>

【資料 4】



県教委主催「ふくしま教育創造コンソーシアム」で実践発表。地区小教研究物、市学力向上論文に出品し、地区内にて実践発表を行った。児童の活動、アイデアを、「小中学生まちづくり大賞」に出品し、銅賞入賞。

【資料 2】



【資料 3】

